



# オフリド (北マケドニア共和国)

## 素材研究 (海外)

### バルカン半島最古・最深のオフリド湖 湖畔で育まれた東方正教会の精神

オフリド湖畔には正教の布教が始まった歴史的な教会群が佇み、湖もバルカン半島最古・最深と、豊かな自然を有します。拠点となるオフリドもまた趣ある町で、日本旅行業協会(JATA)「ヨーロッパの美しい村30選」に名を連ねます。



オフリド湖と聖ヨハネ・カネヨ教会。夕陽の景観もおすすめ



聖ナウム教会は内部も見事



オフリド近郊にある古代ローマ時代のヘラクレーヤ遺跡



オフリド湖畔のレストランで食事を

### 「東方のエルサレム」 オフリドから伝播した正教

北マケドニアの南西部に位置するオフリドはこの国屈指の観光地で、見どころのひとつが東方正教会の文化・美術です。スラブ諸国のアルファベットであるキリル文字は9世紀頃に聖キリルと聖メトディウスにより考案され、この文字を用いてオフリド湖畔を拠点に布教活動を行ったのが聖クリメントや聖ナウムで、いわばオフリドはスラブ諸国の精神文化の源流の地ともいえるのです。

湖畔には聖ヨハネ・カネヨ教会や聖ナウム教会など今なお360余りの教会が残り、いつしか「東方のエルサレム」とも称されるようになりました。

またオフリド湖は約1000万年前にできたとも言われるヨーロッパの古代湖であるほか、深さや広さはバルカン半島最大。湖は深さ22メートルくらいまで見られるほどの透明度を誇ります。固有種を含め200種の動物が棲息していることから、教会群ともども「オフリド地域の自然・文化遺産」として世界遺産に登録されています。

「湖畔の教会巡りや、オフリドからナウムまでのクルーズは湖の自然も楽しめます。湖畔のレストランで景観とともに名物のマス料理や特産のワインを味わうのもおすすめです」と北マケドニア共和国大使館

エグゼクティブ・アシスタントの石川真理香氏は語ります。

### コンパクトで移動も便利 2泊以上には助成金も

北マケドニアは古代ローマ帝国やビザンティン帝国などの歴史を経て、多様な文化が育まれました。ツアーではオフリドとともにアルバニアやコンボなど多国周遊が一般的ですが、オフリド近郊のピトラには保存状態の良い紀元前4世紀頃の史跡が残ります。また首都スコピエはマザー・テレサの出生地で記念館があり、オフリドまでの途上にあるガリチニツ村は年に一度の伝統的な結婚式が世界的に注目されています。スコピエ近郊のコキノには紀元前1800

年頃の古代天文観測所があり、ストビには見事なモザイク画を有する古代ローマ時代の史跡も。

「スコピエからオフリドまでは車で約2時間半。2泊以上のツアーには規模に応じて助成金が出るので、ぜひ有効活用を」と石川氏は呼びかけています。



上階ほど面積が広くなるオフリドの伝統家屋



オフリド湖で採れる淡水パールはお土産にも



伝統料理タフチェグラフチェはトマトと豆の煮込み